



丸松物産株式会社

【中国情報】

※元高が進行、中国輸出企業にも影響

中国商務部(商務省)の沈丹陽報道官は、16日に開かれた定例記者会見で、「人民元相場の上昇は、中国貿易会社に大きな影響を与え、輸出企業にとっては不利な影響が多い。企業は長期的な経営の先行きに対する自信を失っている。中でも、注文があっても受注に踏み切れないという現象が際立っている」と表明した。

中国外貨取引センターは、5月16日に銀行間外貨市場における人民元の対米ドル相場(仲値)が6.2096に達したと発表した。人民元相場(仲値)は9日に6.20を切り、為替相場形成メカニズムの改革後の新記録となる6.1925に達してから、5日営業日が経過している。

急速な元高により、最も影響を受けるのは貿易会社だ。沈報道官は、「人民元相場が近頃高騰しており、輸入貿易の条件改善を促してはいるが、輸出企業の受注および利益に深刻なマイナス影響が生じている」と語った。

沈報道官は、「このマイナス影響は主に三つある。一つ目は、長期的な経営に対する不安から注文があっても受注に踏み切れないという現象だ。二つ目は、輸出の利益が狭められていることだ。中国商務部のサンプリング調査によると、1-4月の契約金額が大きく減少した企業は77.5%に達し、6.6%は正常な契約履行に影響が生じると表明した。また73.4%は、今年通年の輸出による利益が、前年比で横ばいか減少すると予想した。三つ目は中小企業の影響への影響だ」と指摘した。

難関を乗り越える為、一部の企業は人民元建ての貿易決済に強い意欲を示している。中央銀行(中国人民銀行)は今後、クロスボーダー貿易・投資における人民元の使用範囲と規模の拡大を続け、年内に個人のクロスボーダー人民元決済を実現する計画だ。しかしこれは根本的な解決法ではない。これに対して一部の専門家は、人民元相場決定メカニズムの改革により、人民元を変動相場制に移行させるべきと提案した。

「人民網日本語版」2013年5月17日より抜粋

【中国産地情報】

チェリーの生産地である山東省煙台地区では、4月24日の大雪の影響で、一部の花に冷害の影響が見受けられており、今年の収量は2~3割減少するのではないかと現地で予想されております。その為、現段階では2年連続の減産が予想されますが、6月中旬の生産期に弊社貿易部員を現地に出張させ、更に詳しい状況調査を行い、後日報告致す予定です。

【復刻版商品情報】

| | 商品名 | 台湾メンマ 1kg | |
|---|--------|--|---|
|  | 商品説明 | 弊社、創業者が名づけた「メンマ」は、1970年代までは台湾で主に生産されておりましたが、徐々に生産地は中国へシフトされ、現在では輸入量の95%程度が中国から輸入されております。「台湾産メンマ」の復活を目指し、メンマの名づけ親である弊社がご提案する「元祖塩メンマ」です。 |  |
| 復刻版 丸松台湾メンマ | 主要原材料 | メンマ | |
| | 賞味期限 | 製造日より8ヶ月 | |
| | 使用上の注意 | 開封後は10℃以下に冷蔵して、10日以内にお召し上がりください。 | |

以上